

# 「タクシー券見直し(案)」 に係る意見及び回答

---

第3回高齢者福祉審議会 当日資料

令和6年10月31日(木)

## 委員からの意見と回答

- 入間市行政改革大綱とは何か。その期間は。(宮澤委員)
  - 別紙1
- いるまドックとは何か。全体像を示されたい。(宮澤委員)
  - 別紙2
- 要支援1～要介護5の区分を知りたい。(森谷委員)
  - 別紙3
- タクシー券のサンプルが見たい。(森谷委員)
  - 別添サンプル
- 市の福祉に関する独自サービスで「入間市要援護高齢者等タクシー利用料金助成事業」のように要介護認定で支援1、2というような条件を付している事業は外にあるか。(宮澤委員)
  - ねたきり高齢者等介護手当支給事業、ねたきり高齢者等訪問理容・美容サービス事業の2事業は要支援1、2ではサービスを受けられない
- P6. 8の見直し(案)について、すでに7年度、8年度で順次見直すことが決まっているのか。(宮澤委員)
  - 7年度から見直したく、案として審議会に諮っています。

## 委員からの意見と回答

- 資料3について、諮問事項の全体像を示して欲しい。色々な事業を列挙し、今後、何年かけてどうしていくのか。(宮澤委員)
  - 令和9年度から3年間を計画期間とした次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に反映していくため、第2回審議会でお示した各種独自サービス事業について、今年度から令和8年度にかけて順次審議会に諮っていく予定でいます。なお、審議会に諮っていく順位については、現段階でお示しできる事業は、資料3に明記させていただいているものとなっております。今後、決まりしだい順次お知らせさせていただきます。
- タクシーを使う理由が環境以外の身体的な場合、例えば下肢筋力低下予防プランで外出できるような体づくりが望ましい。(小池委員)
  - 65歳以上のすべての高齢者を対象に、運動・栄養・口腔・認知機能低下予防・閉じこもり予防・うつ予防等の一般介護予防事業を実施し、介護予防、フレイル予防に取り組んでいます。
  - 「自立支援」の視点を大切にした介護予防プランにより、利用者がその人らしく自立した生活を送れるように支援しています。
- 要介護1～5のタクシー券利用率が20～30%程度であることから2分の1に縮小することは問題なく4分の1にしても良い。(森谷委員)
  - 現在、利用者の中で2分の1以上利用している方もいるため、要介護1～5の方には令和7年度・8年度は最小限の見直しとさせていただきたいと考えている。

## 委員からの意見と回答

- 見直し案①から③に帰結するものと追われます。しかし、この方針には幾つかの懸念があります。(今井委員)
- A) 利用実態の把握が不十分なので、タクシー利用するために要介護認定を受けている可能性があることについては推定にとどまっている。
  - 見直しのメニューには、利用実態の正確な把握のための方法が含まれていません。可能性や推定に基づいて見直し案をまず実施し、その結果をまって令和8年度から見直しすべきと思います。
- 令和6年3月31日現在で要支援者でタクシー券を受給している方のうち約31%の方が介護サービスの利用がない状況となっております。
- B) タクシー券の利用実態が不明、つまり目的外利用の可能性があるとのことですが、使い勝手が悪くなるもののタクシー会社の協力を得て目的外利用を排除をすべきでしょう。もし、タクシー会社は協力しなければその会社をタクシー券利用対象から除外するしかないでしょう。
  - 利用実態の把握のためこの事業において最も利用されているタクシー事業者2社に話を伺いました。2社ともに個々の利用実態について把握することは、通常の業務に支障をきたすことから難しいとの回答がありました。協力が得られないことでこの2社を排除した場合、タクシーを利用したくても事業者がつかまらない状況となり事業を継続することも困難な状況となってしまうことが予見されます。
- C) 施設やていーろーどのタクシー券の代替可能性についても実態把握が必要で、十分な把握なしで強行すると医療機関等への通院が阻害され、基本的人権の侵害を主張される可能性があります。
  - デイサービスなどの市内各施設に問合わせを行ったところ約6割の施設で送迎を行ってありました。また、ていーろーどなどの入間市コミュニティバスの利用実態等は入間市地域公共交通計画の中でしっかりと行っていただけよう所管課へお伝えさせていただきます。

## 委員からの意見と回答

- 要支援者に比べ要支援者の介護保険サービス利用状況が低いことについて、「タクシー利用料助成事業を受けるために要介護申請している方が多い」という記載について、なんか具体的に調査した結果があるのか、教えてください。(森本委員)
  - 令和6年3月31日現在で要支援者でタクシー券を受給している方のうち約31%の方が介護サービスの利用がない状況となっております。
- 仮に廃止する場合通院困難となる方も出てくる可能性もありますが、ていーワゴンの運用、病院の送迎だけで十分でしょうか？それに対しての代替措置などはお考えでしょうか。(森本委員)
  - ていーワゴンなどのコミュニティバスは入間市地域公共交通計画によって運行しております。所管課は異なりますが、運行ルートや時刻表の見直しにあたっては、利用実態等を考慮し、より利用しやすい見直しが図れるよう所管課へお伝えをさせていただきます。
- 市から示された見直し(案)は止むないと思うが、代替案として「デマンド交通」の活用を本気で協議していただきたい。「ていーワゴン」は自由降車の区間を設定しているようですが、もっと木目細かい「デマンド交通」は必ず必要になります。(山下委員)
  - 貴重なご意見ありがとうございます。「ていーワゴン」や「デマンド交通」については入間市地域公共交通計画のなかで検討を行っております。所管課は異なりますが貴重なご意見と受け止め所管課へお伝えいたします。